

総合心療センター 医療相談室

主任 植木 美佐

はじめに

2020 年は例年と同様 3 名体制で業務にあたった。今年は医療福祉部の新プロジェクトとして、近森病院救命担当ソーシャルワーカー（以下 SW）と心療センターSW の計画的相互異動を 7 月から開始した。2 年間のプロジェクト期間を通じて、今後 2 人の中堅 SW がこれまでの経験や知識を活かし、近い将来新たな役割を見出してくれるものと期待している。

2020 年を振り返って

2020 年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い入院数も減少となり、相談対応件数は月平均約 550 件で例年比では月平均約 50 件減少となった。（図 1）

入院部門では入院時のインテーク内容を担当 SW へ引き継ぎ、入院時カンファレンスや朝の申し送りなどでケース課題について意見を出し合い共有した。昨年まで医療福祉部室長とのケース共有を通じて支援方針等の相談を行っていたが、室長退職に伴い SW 間の相談機能がより求められる年となった。今年は前述の通り新型コロナウイルス感染予防対策の影響により、家族面会や施設見学が中止となり退院支援もコロナ以前の様にはいかない事が多く、その都度個別に対策を取りながら退院に向けた準備支援を行った。また、今年は措置入院患者が 5 名と近年稀に見る数の多さ（例年 0～1 名程）で管轄する保健所、病院、患者・家族と連携を図りながら、退院後の生活についてアセスメントを行い協働して支援計画立案を行った。

入院患者に実施する精神科退院前訪問は例年と変わらない件数だった。生活実態把握や施設見学を目的に訪問し本人・家族の具体的なニーズ確認を行い、生活環境を整える事で病状安定に繋がるよう支援を行った。（図 2）

外来部門では例年通り障害年金の申立てや、介護保険、就労を含む障がい福祉サービスなどの在宅生活に関わる相談や苦情への対応を行った。また今年から新たに医療観察法通院処遇対象者 1 名の受け入れを開始した。

例年行っている精神保健福祉援助実習の受入れと県外出張については感染予防および拡大の為に中止とした。

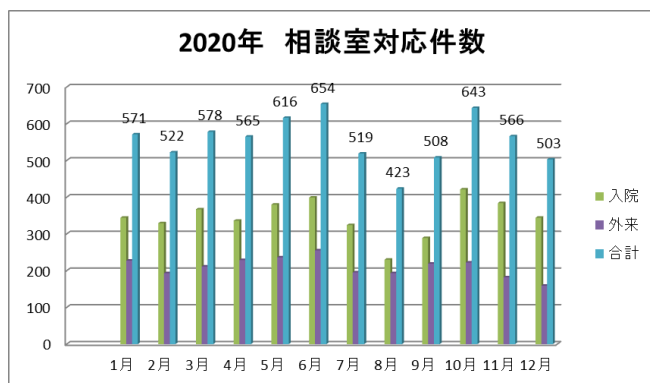


図 1 相談室対応件数

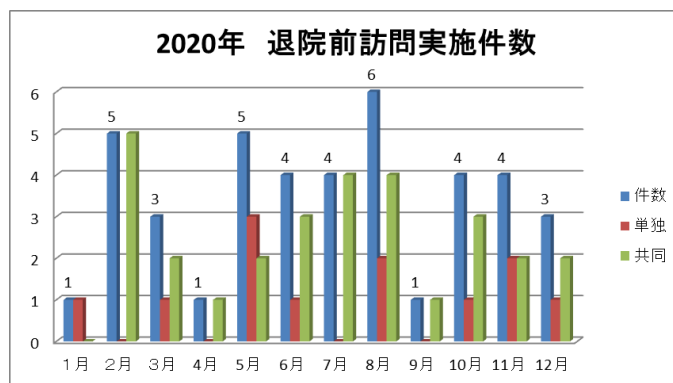


図 2 退院前訪問実施件数

2021 年へ向けて

2020 年は 4 月新センター長に戎先生が就任され医局体制が大きく変わった年でもあった。これから当センターがどの様に展開をしていくのか未知数でもあり、また引き続き新型コロナ

ウイルス感染予防対策と並行しながらの業務になるが、目の前のソーシャルワーク支援を必要とする人の為に相談室全体の質を向上していける様、皆で切磋琢磨して研鑽を積んでいきたい。

実習受入れ状況

新型コロナウイルス感染予防・拡大により受入れ中止

出張

新型コロナウイルス感染予防・拡大により中止